

1. 海洋立国日本の推進に関する特別な功績 分野

普及啓発・公益増進 部門

団体名称	こうちけんりつこうちかいようこうとうがっこう 高知県立高知海洋高等学校
功績の概要	地域と連携した水産・海洋の理解促進活動および海運、水産業の人材育成

功 績 事 項

1. 実習船を活用した海・船で働く担い手育成及び海洋教育の啓発活動

平成 3 年、実習船土佐海援丸を全国に先駆けて全通二層甲板船として建造し、小中高校生、PTA 等を対象とした積極的な体験航海を企画、これまで延べ 6,000 人余が乗船するなど、県民の船として水産・海洋教育の普及啓発活動に取り組んでいる。こうした実習船を活用した多目的航海は、全国で先駆的に取り組んだ中の 1 校であった。

また、次世代を担う生徒の学習意欲を喚起するため、全国で初めて 5 年一貫の船舶職員養成課程を設置し、上級海技士免状を所持した即戦力となる人材を数多く輩出してきた。平成 11 年には、漁船・漁業に対応した一級小型船舶操縦士養成校となり、これまでに 664 名の生徒に資格を取得させるなど、担い手の育成に貢献してきた。平成 29 年には人材育成・キャリア教育の推進が評価され、文部科学大臣賞を受賞した。

2. 水産加工分野における地域活性化のための協働活動

平成 21 年度から土佐市と連携し、宇佐町に設置した「宇佐もん工房」の企画・運営への協力や地元産「一本釣りウルメイワシ」を用いた水産加工食品の開発を行うなど、地元企業と協働して地域おこしに貢献している。平成 28 年度及び平成 30 年度には、食品開発の取り組みと地域連携が評価され、高校生対象の高知県地場産業次世代賞を受賞した。

3. 生徒の主体的な水産・海洋の啓発活動

ツナガールは、学校の缶詰製造実習でマグロの解体作業を担当する女子生徒の名称で、毎年 30 件程度の県内外のイベントに招かれ、魚食文化の普及や消費拡大、高知県観光 PR 活動に取り組んでいる。地域から高く評価されており、今年で 10 代目となる。フィッシング部が平成 15 年から年 2 回開催している“53Pick-Up 釣り大会”は、毎回 50 名以上が参加する河川の生物環境保全と地域清掃を兼ねた活動に発展した。

カヌー部が平成 15 年度の文部科学省指定事業「みんなの専門高校プロジェクト推進事業」を引継ぎ、毎年地域の小学生親子カヌー教室を開き、海の安全教育を続けている。



実習船土佐海援丸



体験航海の様子



ウルメイワシの加工



ツナガールの活躍

表彰状

高知県立高知海洋高等学校殿

貴校は地域と連携した水産・海洋の
理解促進活動及び人材育成を通じ
海洋立国日本の推進に著しい
功績をおさめられました
その功績は極めて顕著であります
よってこれを表彰します

令和元年八月二十二日

内閣総理大臣 安倍晋三

